



今月の顔……ウワーツ、疲れちゃったーツ。(岡豊保育所で)

■予防接種や検診など市のお知らせがのっています。見ぬかりのないように気をつけてください。

■地区連絡員さんには、ご苦労ですが、よろしく願います。

保存しておくと参考になります。

感謝のことに赤面



市・業者・市民の協力で

清潔で明るく田舎

「ふるさと。それは人間のやさしい心を生みだす源泉なのです。子供の頃の清らかな川の流れ……。夏の陽ざしに輝やくせせらぎ……」

それらの思い出の中の一枚のネガが「ふるさと」ではないでしょうか。しかし、その川が年々汚されてゆくとしたら、私たちはなんと貴重な財産を失うことでしょうか。

「毎日出るゴミをどうすればよいのか。川に流すなどいっても毎日出るゴミを置いておくわけにもゆかず、流すしかなさうないではないか」。痛烈な市民の声に応えるべく、市はゴミ問題にとりくみはじめました。

決められた紙袋で

これまでと違って、市民は指定の袋を十円で買い、決められた集積場所へ持っていかなければなりません。これについて市民の中には、税金を納めているのだから当然市が袋代を全額負担すべきではないかと、ゴミ処理は市の仕事だから業者委託をしないで、市が直接一軒一軒まわってやるべきではないかという声があるようです。

が。

▼紙袋は一枚十三円かかりますが市の方でも財政難の中から一枚につき三円の補助金を出しています。またステーション方式・業者委託の問題については清掃区域がほぼ市の全域にわたっていますので、市でやるとなると、職員も車も増さなければなりません。

市がゴミ問題に取りくむとき、先進地域の方法を研究した結果、全国的に一番進んだ方法が紙袋・ステーション方式・業者委託の方法であったわけです。

▼雨の日には袋が濡れて底が抜けることがあります。もつと丈夫にならないものではないでしょうか。

▼それとヒモが短かいという意見があります。ヒモが短かくて、しつかり括つてなかつたため収集業者の方が仕事にゴミをかぶつたということになります。

▼袋を丈夫にする、あるいはもつと大きくするとしますと、現在十円の袋代がより高くなります。

▼紙が薄いとこの意見も聞かれています。あくまで一般家庭から出るゴミ用で作ってあることをわかつていただきたいと思います。

▼ヒモはあまり長くすると邪魔になりますしあくまで平均値をとっています。袋の耐水性についても、使用するにあたっては各メーカーの袋を一週間水につけて耐水性の

実験を市でやりました。

▼先ほどの袋代のことにも関連するんですが、普通の米の袋ではどうしていけないのでしょうか。

▼米の袋でよいとなるとビニールの袋でも、ダンボールでもというように拡大解釈されていくので、この時に問題がおきるわけです。

▼ビニールなどを燃やしますと発生する塩素ガスで焼却炉をいためるんです。ですからゴミ用には指定のものを使っていただいで米の袋なんかは不燃物用にまわしてほしいと痛切に考えるんです。

紙袋には名前を

▼ゴミ袋に名前を書くことになっていますが、これは一方的なおしつけではないかという声があるようです。

▼他の市の例を研究してみますと、他の市でもやっております。もちろんこれは強制ではなく、名前を書かなければ収集しないということはありません。

▼名前を書くのは川に流したりせず、自ら環境保全のために努力しているんだという意思表示のためであり、市ではそれに感謝をしなればならないという「表現」なんです。

▼市が週二回取りのゴミ処理にと

りくんで四月になるわけですがみなさんのご意見、ご感想は。▼収集がはじめられてからは、汚れていた川が随分ときれいになりました。市や業者の方には本当に感謝しています。

市のPR不足も

▼そうですね。私たちは毎日の生活の中で、どうしてこうなんだろ、という疑問をいつも抱いておりました。こうして話を聞いてみますと担当者の方の苦勞も並大抵のことではないことがわかりました。しかしこうして話を聞いてはじめて疑問がとけてゆくというのは、やはり市のPRが徹底していないのではないのでしょうか。▼私もPRの不足というのは感じ

ます。広報に載っていても読まないといいことがあろうです。▼私の地区は山村なんです。先日集積場所をまわってみますと、こちらではやはり自分の家で焼いたり埋めたりしている関係で、ゴミ袋が二つ、三つしか集積場所に出ない所があるんです。丁度その時、収集業者の方が仕事をしています。こんな場合ほとんどは野犬だけの市でも手をやいてはいます。町をうろついている犬には野犬だけでなく首輪をはめた犬も

いるんです。放し飼いは禁止されておりますので、ぜひとも飼い主の方は注意してほしいものです。野犬は県の方に捕獲人をふやすように要請して、四十八年度はふやすことを約束していましたが、まだ一人もふえていません。四十七年から県の方で不用犬を一匹百円で買って保健所にひきとってまわっていますがなかなかうまくゆきません。

▼ゴミ収集にもなって市民のみなさんにはいろんな面で大変。不自由を、おかけしております。現在各地で衛生委員会を開いて市民のみなさんの意見を聞き、市の対策を述べる計画をたてています。

市民の協力に感謝

▼ここでひとつ業者の方のご意見。ご要望をお聞かせねがいたいと思います。

▼今日出席して、内心、市民の方からお叱りの言葉を聞くのではないかと思っていました。かえって感謝の言葉を頂戴したりして赤面する次第です。

▼婦人の方で大変協力的な人がいて、不燃物を車に投げ上げるのを手伝ってくれました。

▼収集に取りかかった当初は、ゴミのためよりもヒドイ、これでは食べもさわらんだらうと思うくらい汚い場所がありました。

そこで市の方にお願ひしたいのは、不燃物とゴミは分けるよう指導していただきたいことです。というのは、両方一緒に埋めておきますと不燃物の埋め場所がなくなりますし、収集の能率が非常に落ちるんです。

▼それから、ビンやガラスの危険物はダンボールではなく、米の袋などに入れていただきたいんです。ダンボールだとゆわえないために車に投げあげると危険なんです。（「実は私のこの眼鏡も三つめなんです……。」と苦笑しながら話される業者の方）。市と市民と業者と、三者が協力しないことにはゴミ問題は解決しません。ブリキなどもゆわえてから指定の場所に

話された人たち



市民代表

山崎英子（下末松）久万和枝（稲生）西森律（後免）武市澄江（大浦）島崎宣子（岡豊）

清掃業者

田中信次郎（田中総業）山崎良一（南国美掃社）山田榮（大公清掃社）

議会

島内正雄（副議長）

公害環境課

田岡信雄課長、谷田豊喜課長補佐、松岡孝行係長、岩崎明雄主事

広報委員

山本尚一、藤本茂樹、山崎俊雄、浜田弥芳、岡沢守道、岡林泰弘、田中隆夫、神田彰

事業廃棄物は一均二円

▼家庭のゴミと事業活動にともなう出るゴミがあります。ある事業者の集積地に一般家庭がゴミを置きにきて事業者がその分まで負担している、ということがよくあります。

▼事業活動によって出てくる廃棄物の処理は、事業者の責任で処分するように市町村が指示するようになっていきましたが、全域収集の段階になって事業者にまかせるのは不親切ではないか。つまり産業の発展は市の発展につながり、事業にともない事業税も払っていることであるから、というので他の市の例も研究して、議会で条例を改正し、一均二円で収集業者にとつてもらうことになりました。

▼また、今のお話とは反対に、事業者が袋を買いこんで、一般家庭のステーションにまとめて出すという、法の盲点をついたことをしている例もあります。

▼事業活動といつても、小さな呉服店とか、事業活動のゴミと家庭のゴミと大差ない場合もあるわけですが。先ほどの話などはよくくれれも自省、自覚してもらって清潔で明るい市をつくるために協力していただきたいものです。

市民のひろば



ファイアーマンあやうし
稲生で

声

雨期到来に思う

見晴らしのよい座敷から、窓越しに眺める香長平野のたすまいも、ここ数年の間にすっかり変わってきた。

チカツ、チカツと初夏の日差しを、まぶしく反射させて、らせん型に見える観光道路を、車が、よじ登って行く。遠く近く尾根を連ねる北方の山すそも、あかちやけた山膚をあらわにむき出し、あそこも、ここも、ずいぶん削ったものだな、あの山すそには、民家や学校は、ないだろうか。などと真剣

に考えている自分に、はっとすることがある。

昨春秋、高知市内に住む友人一家が、由くすれの犠牲になり、二人の愛児を一時にして失ってしまった。その憔悴しきった友の姿を忘れることができない。共に働いた職場から、子どものために、家庭にもどり、育児に専念していた友、賢い頭のひらめきと、素朴



雨期来たる
災害は忘れないころにやってくる

市民
チクリ丸(稲生)

な人柄にひかれて二十年余り、女の友情は短いと、人はいうが、今の

親子クイズ①

ご家庭で話し合ってください。今月号の広報にてています。

- ▼もんだい
 - ①ゴミ収集用の袋は、市の決めた紙袋にご協力を——。指定の紙袋は一枚〇〇円で販売されています。
 - ②全国の広報コンクールで「広報なんこく」が入選しました。入選したのは47年〇月号の広報紙です。
 - ③検診のお知らせがでています。稲生地区で行なわれる乳児検診は、6月〇〇日に稲生公民館です。

▼しめきり・6月30日(土)▼おくりさき・南国市大浦、南国市役所内、広報委員会、親子クイズ係 〒783▼しようひん・特賞 2,000円 1人、残念賞(記念品)10人

★特賞に大野純輔さん(前浜)

第20回の正解者発表

- ▼こたえ・①=10日と②⑤日、②=明治、③⑩、昭和、③=②⑦人でした。
- ▼特賞 2,000円、大野純輔(前浜) 残念賞 記念品、末政光代(田村) 杉本陽子(前浜) 岡林成幹(大浦) 溝瀨陽子(大浦) 北村真理(南陣山) 田中禎子(物部) 大野チヨカ(前浜) 植田明子(小蓮) 中沢富子(西島) 田内成幸(片山)

みんなの学習

差別のない社会をつくろう

日本国憲法が施行され、民主主義の時代となって三十年近くを経過した今日、なお男女の差別、貧富の差別、職業による差別など、差別がさまざまなかたちで存在しているのです。私たちは民主主義をとるながら、日頃のくらしの現実と真の民主主義を正しく結びつけないままに、差別は依然として残されてきました。憲法で基本的人権がいくらか保障されていても、そのことが直ちに国民のくらしの中で、事実として現われるものでないことを正しく理解することがたいせつでしょう。

政治の主権をもつ国民が、国の政治を正しく見守り、国民のひとりひとりの力で、憲法で保障する自由や権利をほんとうにくらしの中に実現するように努めなければ、憲法も基本的人権も絵にかいた餅にひとしく、差別は残され、なくならないのです。

このことは部落差別が今日もなお生き続けていることによっても明らかです。昭和四十年、内閣に出された「同和対策審議会答申」では、「同和問題は、現代社会においても、なおいちじるしく基本的人権を侵害され、とくに近代社会の原理として何人にも保障されて

広報短信

広報なんこく 全国で入選

四十七年度の全国広報コンクールが行なわれ、「広報なんこく」四十七年九月号が、都市の部で入選に選ばれました。

新緑に包

またた雨あがりの山の道は、燃えんばかりの若葉の香りでむんむんする。木々の間から差し込んでくる太陽のこぼれ目に汗を感じながら、ただ歩く。

遠く山肌は、赤ツツジの残色が青い空に浮いて見える。こんな四国山地の某地に足を止め、休むばいにこの季節を吸い取る。

永井荷風の「書に



つくし

入賞は、市民のみなさんのご支援、ご協力のたまものと感謝しています。

親子クイズに 応募ありがとうございます

「こんとこそは当るようにお願

花より雨に

「しずかな山の手の古庭に春の花は：梅、連翹、桃、木蘭、藤、山吹、牡丹、芍薬と順々に咲いては散って行く。そして何時から降り出したともなく降り出して何時止むとも知らず引き続く梅雨……。雨天の花の散りつくすまで決して暗

いします！」(東崎、吉岡隆一君) 「ちかちかちかとも当らない！」(東坪池、土居啓一君) こんな楽しい文章や絵を書いたハガキが毎月広報にとどきます。「長尾鶏が「日本一」ならば南国市も「日本一良い市」になりましたですね。」と書いてあったのは浜改田、十六才の田中敦子さん。

どうもすいません

五月十五日の広報へ、沖繩行の朝と題して絵をくださった北村時重さんの名前が晴重となっていました。訂正しておわびします。

若草の間から顔を出した野あざみに語りかけ、庭のあじさいのつばみを育て、姿美しいかさつばたの花びらにとけこむ緑の雨のいちばん美しい顔である。雨の間をかわして吹いてくる初夏の風も肌美しく感じる。「花から雨へ」こんな自然のひとときもいものである。ひとと休めた足を、また、想い出深い新緑のこの地に、動かせて行く。

朱陽子 (園分)



雨期来たる
古谷栄幸(植田)

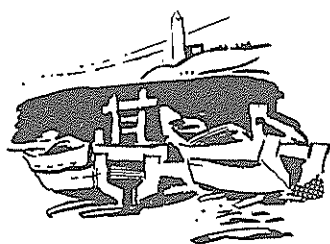
文芸

吉本忠重(久礼田)

怪獣が出てままたこの座がこわれ

吉本清躬(長岡)

根分けして鉢に植えたるボタンかな 新しき帽子かがやき妻田植 永雨に洗濯もせぬ一着かな 花嫁の白きうなじに散るさくら 追いつめて川に橋なしとボネズミ



部落解放への道

部落差別の現実

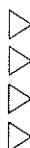
(一) 就職の場合

昭和四十六年七月、高知市南八リマヤ町の某保険会社から、県立〇〇高校へ求人申込みがありました。進路指導の先生が三年生の中で優秀な生徒を紹介しますと、会社は入社試験の結果「採用を内定したので本人が社へ出て来るように」との電話連絡があり、本人が出向きますと、会社での仕事の内容を説明し、通勤方法や背広の新調のことまで話し、健康診断書も提出させました。

その後、会社の高知営業所長と係長が本人の居住地に行つて身元調べをし、同和地区住民であることを確認して帰り、その数日後、高松支店長名で不採用通知が学校へとつけられました。

また県東部の〇〇高校に、地元金融機関から二名の求人があり、学校側では商業科の生徒二名をあっせんしました。その中の一人は市内の同和地区出身で成績はなかなかすぐれた生徒でした。採用試験、面接のあと、成績中位の部落外の生徒が採用され、地区の優れ

た生徒が不採用となりました。それから数日後、再びこの金融機関から、もう一人ぜひほしいので世話してもらいたいという申込みがあり、進路指導の先生方が相



泣く娘

西口敏夫

娘よ

お前は、就職入社試験をうけた筆記試験も合格した
面接テストもパスした
身体検査も通過した
みんな合格した

談し、商業科二クラスの中で一年から三年までをトップでとおした人物、学業とも最優秀の生徒を推せんしました。ところが前回同様の試験と面接の結果、不採用になりました。不採用になった二人と

も部落出身です。そこで進路指導の先生方は、これは悪質な「就職差別」の疑いがあると考へて県教育委員会に連絡しました。そこでこれらの事件について県教委、県職安課、解放同盟、県同教などが合同で調査にあたりました。はじめは「就職差別ではない」といろいろ弁解しておりましたが、最後にはその事実を認めざるを得なくなり「就職差別をしてまことに申しわけありません。深くおわび致します。

それなのに、たつたひとつ

お前の住所は、聞かれ

「部落です」と答えただけであつさり不採用になつてしまつた。

部落出身なるが故に不採用

こんな矛盾があるもんか

むい差別じゃ

ひどい仕打ちじゃ

くやしいことや

憎たらしいことや

娘は泣いた。

(以下略)

します」と重役、幹部職員が陳謝して不採用をとり消すとともに、会社の採用規程も全面的に改正し、幹部職員が部落問題に対する正しい認識と理解をもつために研修会もおこなわれました。

これは学校の先生方が、するどく差別を見ぬき現場の教師と解放運動団体、行政が一体となって企業側にあたり、その非を認めさせた一例です。このような事件は他にも多くおこっていると思われませんが、この事件のように「就職差別」だとの確に立証されることはきわめてまれなことで氷山の一角のように表面にはほとんど出て来ず、闇から闇に葬り去られることが多いのです。

このように、優秀な人材でありながら、ただ部落の出身であるというだけで本人の希望する職業につけないということは、その本人の生涯の生甲斐を奪うきわめて悲惨なことでありますが、このことがまた部落の解放を妨げる大きな壁であり、さらには社会や国家にとつても重大な損失です。この事件は部落外の人達にとつては何の関係もないように見えますが、前記の会社の採用内規を改正さす中で、部落出身者に対する差別を無くしただけでなく、父や母の居ない欠損家庭の子どもや貧乏な家の子、その他恵まれぬ環境にある子ども達に対する差別をも解消したことを見落してはなりません。部落差別は単に部落の人達のみを不幸にしているのではなく国民大衆をも不幸にしているのです。

住宅建設資金などの融資

【個人住宅】

▼受付期間

来年三月三十日までの常時受付

▼受付場所

建設予定場所と同一県内で「住宅金融公庫業務取扱店」と表示した金融機関（四銀、高銀、信連、農協など）

▼融資を受けられる人

- 1、自分で住むための住宅を必要とし土地の準備のできる人。
- 2、収入月額（年収の十二分の二）が、当初の返済額の五倍以上ある人。
- 3、保証人（申込人の収入基準と同額以上の月収のある者）が一人以上ある人。

▼老人同居割増しの融資を希望する人

前記の1、3の資格のほか、住宅部分の床面積が九〇平方メートル以上の住宅を建設するもので、次の(1)または(2)のいずれかに該当することが必要です。

- (1)同居する六十五才以上の老人（明治四十二年四月一日以前出生）が、次のいずれかに該当し、他に老人および老人の配偶者を除く同居

居予定者がある人

イ、申込人またはその配偶者の直系尊属

ロ、申込人またはその配偶者の直系尊属の兄弟姉妹

ハ、申込人またはその配偶者の兄弟姉妹

ニ、申込人またはその配偶者が老人で、他に同居予定者として直系

卑属およびその配偶者またはその

いずれかとその子供の

ある人。

▼融資を受けることができる住宅

住宅部分の床面積は三〇平方メートル（約九坪）以上二二〇平方メートル（約三六坪）以下であること。ただし店舗などつき併用住宅の場合には、住宅部分の床面積が建物全体の床面積の二分の一以上であること。

▼融資額

下表のとおり。

▼利率

年五・二割

▼返済期間

耐火構造

面積	構造	耐火 耐簡	防火 耐火	不燃組立	組立木造	木火含 造構む （防を 造）
90㎡以上 （老人同居割増しの場合のみ）		280万円		270万円	240万円	200万円
80㎡以上		260		250	220	180
70㎡以上～80㎡未満		220		210	190	160
60㎡以上～70㎡未満		190		180	160	140
50㎡以上～60㎡未満		160		150	130	110
40㎡以上～50㎡未満		130		120	110	90

▼返済の方法

元金均等で毎月払い

【土地購入資金付き融資】

公営住宅退居者、公共事業などの移転者などは、二十万円から五十万円の範囲で、住宅建設資金と土地購入資金の融資が受けられます。土地の購入時期は、四十六年四月一日以降に限られます。

【産業労働者住宅】

簡易耐火構造 三十五年以内
その他の構造 二十五年以内
十八年以内

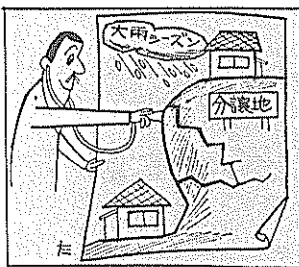
【中高層耐火建築物】

店舗・事務所など付き住宅（一般中高層耐火建築物）は、地上三階以上、延べ面積が原則として千平方メートル（約三〇二坪）などの条件つきで、基準建設費の七割五分以内で融資されます。

鉄筋アパート（土地担保中高層耐火建築物）は、地上三階以上、延べ面積が原則として千平方メートル（約三〇二坪）以上、全部が住宅であることなどの条件で、基準建設費の九九・四五割を融資。いずれも九月二十九日（土）までに、県庁の土木部建築課まで。

【住宅改良】

自分で住むための持家を改良（増改築など）する人が対象。工事費の七割以内の額で十万円から八十万円まで、年利六割、十年以内の返済。受付は来年三月三十日まで。にもよりの「住宅金融公庫業務取扱店」と表示した金融機関まで。＊くわしいことは、住宅金融公庫高松支所・住宅金融公庫業務取扱店・県土木部建築課・市建設課建築係にお問い合わせください。



大雨のシーズン.....

危険なところを点検し
対策をたてておきましょう

ママ、検診のお知らせですよ (6月20日～6月30日)

日	6.20	6.22	6.25	6.25	6.26	6.27	6.29
種目	老成人検診 結核検診	老成人検診 結核集団検診	老成人検診 結核集団検診	老成人検診 結核集団検診	乳児検診	乳児検診	老成人検診 結核検診
場所	桶生小学校	日章小学校	三和公民館	阿戸公民館 中央市場前 団市場前	桶生公民館	三和公民館	白木谷公民館
時間	9:30 14:30	9:30 11:30	1:30 2:30	9:30 10:30 11:00 12:00 15:00	1:30 2:30	1:30 2:30	10:00 2:00
対象	桶生地区 内容(検尿・血圧・栄養・結核)	日章地区 内容(検尿・血圧・栄養・結核)	三和・前浜地区乳児 47・2・1・47・8・30出生乳児	十市地区	桶生地区乳児 47・4・1・48・4・30出生乳児	三和・前浜地区乳児 47・9・1・48・4・30出生乳児	白木谷 内容(検尿・血圧・栄養・結核)



入りましたか？ 市民交通傷害保険

市民交通傷害保険は、ひとりでも多くの人に加入してもらおうと、保険料(掛金)はできるだけ安くしました。1人月割40円、年間480円。事故は思わぬ時におこります。

転ばぬ先の杖！ 先ず市民交通傷害保険へお入りください。未だ入っていない人は、今すぐ市役所、支所、農協、銀行で加入手続きを取ってください。

保険金は死亡時50万円

廃失時30万円

けがの治療日数により2千円～6万円です。もし事故にあったときは、市役所公害環境課公害交通係へご連絡ください。事故日より2年が過ぎると保険金がもらえなくなります。市民交通傷害保険の契約は6月1日～翌年5月31日迄です。未加入の人は今すぐ加入しましょう。

社協だより

心配ごと相談所(市社会福祉協議会内)に有線電話(二〇二八)ができました。

市社会福祉協議会は心配ごと相談のほか、老人クラブ、傷疾軍人会など社会福祉の仕事をしていきますのでご利用ください。事務所は市役所二階南側にあります。

献血ありがとうございます

今回の「愛の献血」は五月十四日、三和地区(三和農協)と後免地区(南国郵便局)で行なわれました。希望者百五名、採血者八十名、黒改田、沢本富美子さんほか二十一名、片山、浜田



父の日……(17日・第3日曜日)

▼ 父の日がないのは不公平と、1910年ある夫人の提唱でできたとか。
▼ 母の日ほどの馴染みはありませんが、家族一同、健康で明るく暮らせる原動力は、お父さんにも大いにあるはず……です。

5月の交通事故

	件数	死者	傷者
5月の事故	52件	1名	73名
昨年の5月	44件	3名	58名
ことしの累計	216件	4名	328名

綾子さんほか四名、浜改田、西村美子さんほか十三名、大埔、佐々木健二さんほか三名、藤原、野中和子さん、大橋、山中保明さんほか二十二名、下野田、越智三郎、桶生、鍋島幸夫、園分、高村幸貴、十市、小野山朝美、日章、桃田尚、亀岩、坂本憲雄、ほか五名のみなさん。